

緊急消防援助隊情報

令和2年度緊急消防援助隊中国・四国ブロック 合同訓練の実施結果について

広域応援室・山口県実行委員会

令和2年度緊急消防援助隊中国・四国ブロック合同訓練は、山口県西部の地域特性を反映した災害を想定し、「新型コロナウイルス感染症対策の徹底」や「統合機動部隊による迅速な災害対応」をコンセプトに、要請要綱に基づく要請手順を検証し、活動技術の向上、警察・自衛隊等関係機関を含めた連携活動能力の向上及び応援体制の向上を図ることを目的とし、次のとおり実施しました。

1. 実施日

令和2年11月14日（土）

2. 実施場所

山口市、下関市、美祢市

3. 実施内容

(1) 訓練想定

山口県西部地区では数日先の先行雨量があるところに、令和2年11月12日から13日にかけて、さらに降雨が継続した。14日、下関市菊川町を震源とするM7.0の直下型地震が発生し、下関市及び美祢市において、それぞれ震度6強及び震度6弱を観測した。

この豪雨と地震により、建物倒壊、堤防決壊、道路橋梁倒壊、土砂災害等が発生し、多数の死傷者が発生している。更に被害が拡大する見込みであり、山口県内の消防力のみでは対応が困難であることから、緊急消防援助隊の応援要請を行った。

(2) 消防応援活動調整本部等設置運営訓練

想定地震発生後に、山口県庁に消防応援活動調整本部を、下関市消防局及び美祢市消防本部にそれぞれ指揮本部及び指揮支援本部を設置し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した環境下における、応援要請等に係る情報伝達、受援調整及び緊急消防援助隊の部隊活動調整等について、ロールプレイング方式により図上訓練を実施した。

《今後の課題等》

- 消防応援活動調整本部内において、県災害対策本部と連絡調整に当たる職員が不足したため、災害の全体像や消防力の調整を要する被害情報の十分な共有が図れなかった。
- 受援が決定した段階で指揮本部から、指揮支援本部をサポートする班や応援部隊の受入れ体制を構築する班を編成する計画としていたことで、円滑な指揮本部

運営を図ることができた。

- 受援の際には、想像以上の職員数が必要となることが認識できたため、今後、より具体的な体制づくりに役立てていきたい。



消防応援活動調整本部等設置運営訓練（山口県庁）

(3) 参集訓練及び受援対応訓練

指揮支援隊については、ヘリコプターや船艇により調整本部等への参集訓練を実施した。また、統合機動部隊については、山口県内2箇所を進出拠点とし、管轄消防本部による受援対応訓練を実施した。

《今後の課題等》

- 統合機動部隊に対する受援体制の検証はできたが、より複数の進出拠点を設定するとなった際に、受援対応職員の迅速な対応が求められると感じた。
- 多数の応援部隊が九州方面から参集する際に、関門橋及び関門トンネル（九州と本州を結ぶ主要道路）が通行止めとなっている場合の進出方法及び進出拠点等を検証する必要があると感じた。



船艇による指揮支援隊輸送訓練（岬之町埠頭会場）

（４）災害即応訓練

新型コロナウイルス感染症対策として、参加する機関の規模を縮小するため、統合機動部隊のみが参加し、地震被害を想定した各種訓練を実施した。

広島県統合機動部隊は、観光バス等が地震により発生した土砂崩れに巻き込まれ、崖下に転落したとの想定のもと、救出訓練を実施した。

島根県統合機動部隊は、地震により乗用車が法面崩壊に巻き込まれたとの想定のもと、救出訓練を実施した。

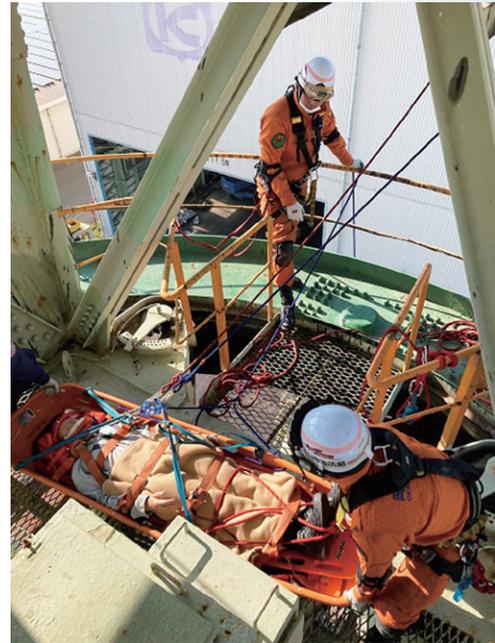
岡山県統合機動部隊は、造船工場において、地震により各種事故が発生しているとの想定のもと、救出訓練を実施した。

《今後の課題等》

- 新型コロナウイルス感染症対策として、参加する機関の規模を縮小し訓練数も絞って実施したことで、訓練計画・運営に集中して注力することができた。
- 自然地形や既存工作物を利用することで、実災害に則した訓練を実施できた反面、安全管理面で苦慮する点があった。



バス斜面転落事故救出訓練（下関市）



造船工場における救出訓練（下関市）

4. おわりに

今回の訓練は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した環境下における、消防応援活動調整本部、指揮本部及び指揮支援本部の運用調整、統合機動部隊による訓練実施等、より実践的な訓練となるよう計画しました。

山口県における緊急消防援助隊の受援及び部隊運用、関係機関との連携活動等における課題等が明らかとなり、実災害への対応に向けた大変有意義な訓練であったと考えます。

今後、今回の訓練で得られた成果や課題等を踏まえ、緊急消防援助隊の応受援体制の更なる充実強化に努めてまいります。

最後に、本訓練開催に際しまして、多大な御協力を賜りました中国・四国ブロック各県、参加各消防機関及び関係機関の皆様へ心より感謝申し上げます。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室
TEL: 03-5253-7527（直通）